

公益財団法人 国際仏教興隆協会
令和 5 年(2023 年)度事業計画

その 1. 基幹宗教福祉事業の継続実施

- (1) 無料の幼児教育・初等教育の実施
- (2) 無料医療福祉事業ならびに防疫事業の展開
- (3) 附属図書館を拠点とする各国・地域の宗教文化に関する資料の収集と展示および閲覧提供
- (4) インド・ブッダガヤ現地の各国仏教寺院との合同行事の開催
- (5) 仏教興隆や異文化理解に資する研究会や集会の開催と機会提供
- (6) 専門研究者および実践者による学術セミナー・シンポジウムの開催
- (7) 世界遺産保全の諮問機関の一員としての諸会議参加活動
- (8) 巡礼者参拝者等に対する便益の供与
- (9) 日本国在外公館ならびに現地政庁機関からの依頼を受けた困難行路者の保護
- (10) 禅文化講座の開催
- (11) その他、この法人の目的を達成するために必要と認められる事業

その 2. 財政基盤確立への不断の努力

- (1) うち続く法人収入減少の流れと、上記諸事業の主展開国(インド)における著しい物価上昇、インフレーションに対処するための安定財源の確立に懸命に努める。
- (2) 法人基盤確立の根幹は会員数の安定維持と増大にある；との認識のもと、叶うかぎりの交流事業や催事・イベント等を通じて、新規会員の獲得に努める。

その 3. 広報活動の積極的展開

- (1) 上記第 2 項を機能させるため当法人認識度の埋没を真に怖れて、多様膨大な情報が流通する現代社会における広報手段や社会的嗜好傾向、その手段・技術等のめまぐるしい変化につねに対応した広報活動に努める。